

たけのうち便り

平成27年2月14日発行

Vol.48



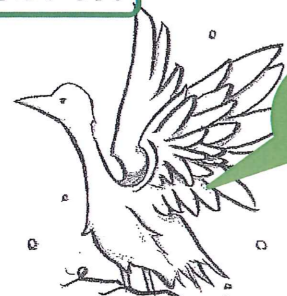
いつもお買い上げいただきありがとうございます。お米のほか季節や地域の情報をお届けいたします。

～お米の歴史II～

前号で、稲作がどこから伝わり、日本各地に広がった理由を紹介しましたが、今回はモチについて紹介してみようと思います。

モチが伝わってきたのは、稲作と同じ縄文時代後期、東南アジアから伝わったとされています。

奈良時代



神!?

【豊後国風土記】の中に、余った米でモチを作的にして射たら、モチが白い鳥になり飛んで行ったという伝説があります。その後その田畑は荒廃し、家は没落したといわれています。ここからモチには神聖なものが宿ると考えられ、ハシの日に食べる習慣が広がりました。

平安時代

宮中で行われていた正月の行事に「歯固めの儀」があります。これは、固いものを食べて歯を丈夫にし長寿を願う儀式で、正月にモチを食べたり神棚や床の間に鏡餅を飾る風習も、この行事が由来しているようです。

鏡餅、登場!!

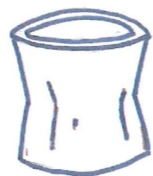


江戸時代

堅杵 (たてきね)



パトンタッチ



それまでモチをつくのは堅杵だったのですが、横杵になったことでつきやすくなり、行事に関係なく庶民も気軽に食べるようになりました。

モチは形も種類もいろいろあります。

円形

西日本は、この形。鏡餅もそうですね。

東日本は、のし餅を切ったこの形。

角形

関西では「ねこ餅」と呼ばれるそうです。ついた餅を手で成形して固まったら切り分け、焼いたり油で揚げたりして食べます。

ナマコ形(かまぼこ)

その他にも、ヨモギと一緒についた【草餅】
 栃の実を混ぜてついた【栃餅】
 茹でた豆をすり鉢等で潰したものにからめて食べる【ずんだ餅】
 などがあります。

茶道の初釜の時に頂くゴボウの入った【花びら餅】は、宮中で行われていた歯固めの儀の名残です。お正月の時にだけ頂く餅菓子です。

地域のイベント情報



かつうらビックひな祭り

期間: 2月20日(金)～3月3日(火)
 遠見岬(とみさき)神社 他

勝浦市では、毎年この期間、街中が色鮮やかな雛人形で飾られます。たくさんのイベントも開催され、土日は歩行者天国もあります。



桜まつり賑わいイベント

4月5日(日) 10:00～
 佐久間ダム公園にて

鋸南町の花まつりの最後を飾るのは、「桜まつり」です。ソメイヨシノ・しだれ桜・八重桜が順に咲き、桜のルーを見ることができます。

期間: 3月21日(土)～4月12日(日)

裏面もご覧ください

★当店で取り扱っているお米は安全なお米です。安心してお召し上がり下さい★

竹ノ内米店《本社》千葉県富津市山中1254 《鴨川店》千葉県鴨川市池田327-1

お米のご注文は、こちらまで→ フリーダイヤル 0120-07-0334

インターネット販売 <http://www.takenouchikometen.com> ホームページもご覧ください。

たけのうち便り

神楽特集



元気に大きくなあれ!

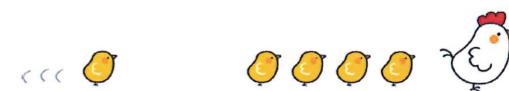


長安寺の節分会

2月3日は節分でしたね。ここ長狭米の里でも、各地区で豆まきが行われました。大山地区は大山不動尊、主基地区は白滝不動で節分会が行われましたが、今回は吉尾地区で行われた「長安寺」の節分会を紹介します。

こちらでは、豆まきの前に神楽の奉納があります。この神楽の獅子舞を担当しているのは、竹ノ内米店専務の庄司です。

天候に恵まれたこの日、午後からの豆まきには近くの小学生も参加し、とても賑わっていました。



田んぼの様子

年が明け、1月後半から農家の皆さんは米を作る準備を始めています。写真は田おこしの様子です。稲刈りが終わり、冬の間眠っていた田んぼの土がトラクターによって掘りおこされています。この作業をすることで土に酸素を含ませ、米を作るのに適した田んぼにします。ふと田んぼの水たまりを見ると、カエルの卵を発見! 賑やかなカエルの合唱が、もうすぐ始まります。(2月12日撮影)

